

外部資源利用の政策目標は

北島 一雄 議員

答 基本的には民間でできることは民間で

問 アウトソーシングの現状と課題、政策目標は。

市長 庁内に公的関与のあり方検討委員会を設置、公的関与の妥当性を調査検討している。選択と集中、費用対効果を重視した行財政運営が肝要だ。
問 民間活力による事業展開の現状は。
企画財政課長 平成18年4月に6公共施設を指定管理者制度へ移行した。現在は8か所を指定管理者制度で運営している。



唯一市直営の筑後保育所

問 公立保育所は地域の保育基準となる。存続すべきではないか。

公立保育所の存続は

養護老人ホームは民間譲渡。公立保育所は2か所から1か所へ集中。燃やすごみの収集業務は半分を民間委託。学校給食は24年度に中学校3校を民間委託、小学校の委託も検討中。図書館は直営方式で運営している。

企画財政課長 これまでも先導的な役割を担ってきた。民間保育との連携も含めて、十分検証する。
問 学校給食はコストカットが強調されるが業務内容は大丈夫なのか。
学校教育課長 コスト的には委託前と比較して中学校3校で年間約2000万円の効果があつた。業務内容はおおむね標準的に実施できている。

厚生委員会 研修報告

平成26年5月13日～15日

処理コストを抑えた改築を視察

愛知県衣浦衛生センターでは、従来受け入れしたし尿を河川に放流できる水質まで処理を行っていたが、放流先を下水道に変更することで、処理プロセスの簡素化、処理コストの削減を図り、また脱水汚泥を含水率70%以下にすることで、組合内のクリーンセンター衣浦での焼却処分が可能となった。

高濃度臭気はセンター内の焼却施設で焼却脱臭処理していたが、焼却施設を廃止し、三段処理（生物、薬品、活性炭）を行うことで、万全かつ処理コストを抑えた脱臭設備を実現した。



衣浦衛生センターでの視察風景

愛知県大府市	人口 88,550人
兵庫県尼崎市	人口 447,749人

筑後市衛生センターも検討が急務

今後、老朽化している筑後市の施設の全面改築にあたっては、多様な処理方法を慎重に検討し決定すべきである。
愛知県大府市視察では、議員提案による「健康都市おおぶみんなど美しいまちをつくる条例」について研修を行った。条例

制定にあたり、若手の議員が主体的に動き、議会や市民へ理解を求めていった。議員の政策提案という点で大変参考になった。
兵庫県尼崎市では、特定健診受診率を引き上げるため、ローションと提携した全国初の「コンビニ検診」について視察を行った。

先進地に学ぶ ～研修レポート～

建設経済委員会 研修報告

平成26年5月15日～17日

調布市では、FC東京とのパートナーシップについて研修をした。

筑後市と福岡ソフトバンクホークスとの地域包括連携協定締結に向けて、議会としても調布市のFC東京とのパートナーシップを参考としながら市民のための連携協定となるよう積極的に取り組んでいく必要があると強く感じた。

将来課題

「公営墓地」を視察

また、先進的な墓地運営をしている横浜市営墓地「メモリアルグリー



横浜市の市営墓地を視察研修

東京都調布市	人口 223,947人
神奈川県横浜市	人口 3,702,225人

総務文教委員会 研修報告

平成26年5月19日～21日

教育行政について 先進地視察

福生市では中学校宿泊学習教室事業（中1ギャップ対策として）について研修した。宿泊学



甲府市役所での研修風景

東京都福生市	人口 58,676人
山梨県甲府市	人口 193,812人
長野県小布施町	人口 11,326人

習を通じて、新しい友人や教員との人間関係を育み、中学生活への早期適応、学習習慣や生活習慣の基礎を身につけさせるもので、問題行動が減り学力も都の平均を上回るようになったとのことである。
甲府市では教育支援ポ

ランティア活用事業とヴァンフォーレ甲府を通じてまちづくりについて研修した。大学生、教員OB、地域住民などが、小中学校において、児童生徒へのきめ細やかな学習支援、教師との橋渡し等を行なっている。また、同市ではプロサッカーチームと連携し、まちの活性化を図っており、筑後市とホークスファームの連携の参考にもなった。

小布施町ではまちじゅう図書館事業（まちとしょテラソ）について研修した。図書館を「交流と創造を楽しむ文化の拠点」と位置付けるとともに、街の店舗や畑などいたるところに本棚を置き、町民や観光客が自由に本を楽しむ「もてなしの場」になっている。

「」について研修を行った。
筑後市においては、集落ごとの納骨堂やお寺への納骨が主となっている。特に集落毎の納骨堂は、改修、改築の時期にきていることもあり、これからの市の課題の一つとなると思われ、今回の視察は大いに参考になると感じた。
東京都中央卸売市場においては市場流通、大都市圏における消費者の需要動向について研修を行った。
東京都中央卸売市場は移転に伴い改築が行われる。これまで以上の筑後市農産物の市場確保を含め計画内容についても説明を受けた。